

2017年度 日本板硝子株式会社 入社式挨拶（要旨）

2017年4月3日
日本板硝子株式会社
取締役代表執行役社長 兼 CEO
森 重樹

皆さん、おはようございます。

そして、日本板硝子株式会社への入社、おめでとうございます。今年も新しい仲間を迎えることができ、とてもうれしく思います。

今日は「ガラスの未来」と「グローバル」という2つの観点から、皆さんへの期待をお話したいと思います。

皆さんが今日からキャリアをスタートする日本板硝子は、設立されてから99年にわたって、「ガラス」という素材にこだわり続けてきました。ガラスの歴史は古く、紀元前4000年より前にエジプトやメソポタミアで作られたガラスビーズが始まりと言われています。やがて、ガラス食器などが作られるようになり、5世紀頃には板ガラスの製造法が生み出されました。

今日ではガラスは、私たちの身の回りのどこにでもある必需品となりました。そのためか、安全、快適、便利、綺麗といったガラス製品の基本的な価値を人々が意識することは、ほとんどありません。しかし、もし世界からガラスが消えたらどうなるでしょう？ ガラスのない生活を想像してみると、この素材が果たしている大きな役割と、ガラスを世界中で生産している私たちの責任の重さに気がつきます。

また、最近のガラスは、住宅・ビルや自動車の窓だけではなく、太陽電池、スマートフォン、プリンター、自動車エンジンのベルトやバッテリー、さらには化粧品や塗料など、思わぬところで人々の暮らしを支えています。また、気候温暖化への対応、省エネルギー、自動運転車の普及など新しい課題へのソリューションとしてもその必要性和重要性が増しています。

このように、古いけれど新しい素材であるガラスは大きな可能性を持っています。

当社は現在、「VA ガラスカンパニーへの変容・変革」に取り組んでいます。「VA」とは Value-Added（付加価値）の意味です。これから皆さんが社内で何度も耳にすることになる「VA」とは、私たちの技術を生かして新たな価値を加えたガラス製品やサービスを提供して行くことです。

そして、「VA ガラスカンパニーへの変容・変革」の原点はお客様のニーズにあることを忘れないでください。新しい価値の提供を可能にするためには、開発部門だけでなく、製造も販売も管理もすべての部門が、常にお客様視点で考えて、お客様のニーズに応えることが求められます。

皆さんには、世の中の動きをよく見て、お客様のニーズを知り、そして自分の頭で何が問題の本質であるかを考え、新たな価値を提案する訓練を積んでいただきたいと思います。

次に「グローバル」ということについてお話しします。

皆さんが最初に配属される職場は国内だと思いますが、2006年に英国のピルキントン社を統合した日本板硝子は、世界 28 か国に製造拠点をもち、「NSG グループ」のブランドで 100 以上の国々で製品を販売する「グローバル」企業です。27000 人の私たちの仲間は、ヨーロッパ、アジア、南北アメリカなどグローバルに活躍しています。

当社のような企業にとって、「グローバル」とは、世界各地の政治・経済の出来事やガラス市場の動き、そして、各国の従業員の決断や行動が複雑に影響し合うビジネス環境を意味するのではないかと思います。私たちは昨年度、ダイバーシティ&インクルージョンの宣言を行いましたが、グローバルなビジネス環境で仕事を始める皆さんには、国籍や人種、性別にとらわれず、多様性を尊重し、互いに積極的にコミュニケーションする姿勢が求められます。

私自身も 36 年前に入社した時には海外で勤務することになるとは思ってもいませんでしたが、多くの機会とチャレンジに恵まれて、現在に至っています。皆さんには、自分の毎日の取り組みが世界各地のお客様や同僚に与える影響を考える練習を積んで、一人一人の潜在能力を最大限に引き出し、世界中の仲間たちと研鑽を積んでいただきたいと思います。

最後に当社の事業精神についてお話しします。

当社は 400 年の歴史を持つ住友グループの一員として、住友の事業精神、すなわち、「事業は人なり」「信用を重んじ確実に旨とする」「浮利（目先の利益）に趨らない」「技術を尊重する」「事業を通して社会に貢献する」という企業理念を受け継ぎこれを守っています。この事業精神は、これからの会社生活で判断に迷った時に、必ず進むべき道を示す指針となるものです。しっかり理解していただきたいと思います。

日本板硝子は来年、設立 100 周年を迎えますが、皆さんの 100 年に向けた第一歩は今日始まります。「ガラス」という素材を通じてお客様の「問題の解決策」を考え、「グローバル」なビジネス環境の中で、存分に力を発揮されることを期待しています。

皆さんの入社を心からお祝いし、歓迎の挨拶といたします。

以 上